

花粉症のみなさん！

奥日光に来れば、スギ花粉
から逃げらるますよー！



今年は、スギ花粉の量が例年よりかなり多いようですね。花粉のせいでお出かけが億劫になっている方はぜひ、奥日光へ！！なぜなら、奥日光には、花粉症の原因となる「スギ」がほぼないからです！私自身、重度のスギアレルギー持ちで、薬を飲み忘れた日には、くしゃみと鼻水が止まらずそれはそれは大変なのですが、奥日光で仕事をしている時は全くの無症状！で、街中に出ると鼻水大洪水。春はとにかくずっと奥日光にいたい。ほんとに。



花粉の心配がないのは、あくまで奥日光だけです。日光東照宮があるいろは坂下にはスギがあります。「日光杉並木街道」はご存知ですか？私、入社1年目はそのすぐ近くに住んでいたのですが、一日で車が黄色い粉だらけになっていました。ヒエー。

春先のハイキングや登山を諦めていた方、奥日光で、避暑ならぬ『避花粉』はいかがでしょうか？

イラスト・文 みやぎ

定期購読のご案内

発行日にご自宅まで本誌をお届けします。

「楓通信」 購読料 1,000 円

2022年3月号(No.148)～2023年12月号(No.155)

※本誌は無料。送料、手数料として頂きます。

[申し込み方法]
ビジターセンターで申込書にご記入いただくか、
下記まで氏名・住所・電話番号をご連絡ください。

✉ yumotovc.guide@bes.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

奥日光の自然情報誌

楓通信

2023年 No.152
3-5月号



コマドリ（湯ノ湖）

今号の特集

第9回 OneTeam 奥日光の魅力的な生きものランキング

奥日光の山に登ろう！ 特集『男体山』

生きもの大好きスタッフに聞いた！ 奥日光の魅力的な生きものランキング

実はこの度、ビジターセンターに3年間在籍した若手職員が退職します。自然環境系の専門学校を卒業し、生きものに詳しい彼は、野鳥をはじめ哺乳類、昆虫など、ビジターセンターの『生きもの係』として活躍しました。入社当時は奥日光について全く知らなかった彼が、3年間の勤務の中で出会い魅了された生きものは何なのか？ランキングにしてもらいました！

※今号の表紙とこのページの写真は、全て彼が撮影したものです。

両棲類・爬虫類

No.1 ヤマカガシ



見られる時期：5～11月

奥日光でハイキングをしているとよく見かけるヘビです。この派手さがカッコいいのでじっくり見てほしいですが、ハブやマムシより強い毒を持っているのでなかなか難しい…。距離をとって観察してみてください。

No.2 ジムグリ



見られる時期：5～11月

ジムグリは普通こげ茶色ですが、子供の頃は写真のように、鮮やかなオレンジ色です。幼い顔つきが可愛いです。土に潜っていることが多く、出会う機会が少ないので、見つけたらテンションが上がります！

No.3 アズマヒキガエル



見られる時期：5～11月

5月上旬頃、戦場ヶ原や光徳沼では産卵のために大集合するカエルたちのガマ合戦が始まります。たくさんのカエルが一同に動き回る様子は迫力満点。見ごたえ抜群です。5月上旬は、カエルの声に注目です。

No.1 キツネ



見られる時期：1年中

冬は全身モフモフで、夏はシュッとスリム。そんな、可愛らしさとカッコよさを兼ね備えたところが魅力的です。千手の森のパトロールでの遭遇率が高く、日向ぼっこをして眠たそうにしている個体も見ました。

No.2 タヌキ



見られる時期：4～11月

この写真は、遡上するワカサギをタヌキが食べに来ていたところでです。毛が長くモフモフなので、歩いていても獲物を捕っていても、何をしても可愛いです。動くモップのような物が見えたらタヌキかも？

No.3 ツキノワグマ



見られる時期：4～12月

千手の森のパトロールをしていると毎年遭遇します。遠くから観察すると、お尻について座ったり頭をかいたり、可愛らしい姿が見られます。基本は大人しくゆっくりした動きで、なんとも癒されます。

昆虫

No.1 クロウスタビガ



見られる時期：9月下旬～10月

生息地が局所的で、なかなか出会えない珍しい蛾です。なんともいえない渋さがカッコよくて好きです。初めて見たときは感動しました。羽を広げると10cmほど。近くで見ると、体がモフモフで可愛いんです。

No.2 キンスジコガネ



見られる時期：7～8月

昆虫の中でもトップレベルに美しいと思います。なかなかお目にかかる不容易なですが、湯元と光徳で行った「ライトトラップ」のイベントで姿を見せてくれました！光が当たってキラキラ輝く様は、宝石のようです。

No.3 エゾヨツメ



見られる時期：4～5月

春になったら絶対に見たい蛾の一種です。目のような模様が4つあることから、その名がついています。大きな青い丸模様が美しく、いつ見てもうっとり。日没直後に街灯などに飛来していることが多いです。

No.1 コマドリ



見られる時期：5～8月

5月上旬には湯ノ湖周辺を通過するため、湯元では毎年鳴き声が聞こえます。それを聞くと、「春が来たな」と実感します。小さな体で、大きく口を開けて一生懸命に鳴くその姿も魅力です。

No.2 ミコアイサ



見られる時期：1～3月

1月頃に湯ノ湖に飛来することがあります。別名パンダガモと呼ばれる不思議な模様が面白いです。湯ノ湖は他の水鳥の数が多いので、よく探索しないと見つかりませんが、出会えた時の嬉しさはひとしおです！

No.3 カワガラス



見られる時期：1年中

湯川沿いに多く生息しています。陸の鳥では日本唯一の、潜水能力を持つすごい鳥です。飛んだり潜ったり、他の野鳥とは異なる動きをするので、見つけると夢中で観察してしまいます。水辺で探してみて下さい。

奥日光の 山に 登ろう！

修験の道らしい、険しい道のりだが
登りきった達成感は格別



四合目～八合目

四合目からは、再び樹林帯になります。徐々にゴツゴツとした岩が出てきて、足場の悪いガレ場に突入です。大きな岩が連なる道を、全身を使って登っていきます。傾斜もあるため神経を使うので、少しでも足場が安定するところを見つけたら、こまめに休憩してください。

九合目～山頂



五合目を過ぎると、中禅寺湖がよく見えるようになります。少し高度を上げるだけで見える景色が変化するので、ちょっと休むだけでも元気になりますよ。ここから

八合目には、避難小屋と滝尾神社があります。そのガレ場を抜けると、土留めネットが敷かれた道に変わります。多少歩きやすくなっていますが、引き続き急な上り坂です。ここまでにかなりの疲労が溜まっているはずですので、油断せずに山頂へ向かいましょう。

八合目に入るまでは、このガレ場が続きます。体力を温存しながら、慌てずゆっくり進みましょう。八合目には、避難小屋と滝尾神社があります。そのガレ場を抜けると、土留めネットが敷かれた道に変わります。多少歩きやすくなっていますが、引き続き急な上り坂です。ここまでにかなりの疲労が溜まっているはずですので、油断せずに山頂へ向かいましょう。

下山後は、ぜひ温泉へ！濃厚な硫黄泉が、疲れた体を癒してくれますよ！

九合目の森林限界を過ぎると、遮るものが多くなり一気に明るくなりますが、山頂へ向かうと、天候によっては夏でも低体温症になる恐れがあり、注意が必要です。また、小石地帯（ザレ場）でもあるので、足元が滑りやすいです。一步ずつ、着実に足を運びましょう。鳥居が見えたら山頂です！その奥に、二荒山神社の奥宮があります。登頂への感謝と、下山の安全を祈願して、ゆっくり休んでください。

男体山の山頂周辺には、大きな剣があることで有名です。この剣は「御神劍（ごしんけん）」と呼ばれ、男体山のシンボル的存在です。御神劍は、華厳滝の周辺からも肉眼で見えますので、登山しない方も、探してみると面白いですよ。

下山時の注意点

男体山登山で多いのは、下山時の事故です。何度もお伝えしましたが、男体山は急斜面の登りがほとんどです。つまり、帰りはその斜面を、ひたすら下ることになります。膝や下半身の筋肉への負担が大きいため、バランスを崩してケガをしたり、歩けなくなってしまうという事例が多いです。登りの時よりも一層注意して、慎重に下山してください。

登山口から一合目までは、長い階段です。この階段が終わると、登山道らしくなっていきます。樹林帯を進み、三合目で一度、アスファルトの舗装路に出ます。何度かカーブを曲がると四合目の入口です。この区間は比較的なだらかな道ですが、コースの中では傾斜がゆるやかになるのはここでだけです。油断してベースを上げないよう注意してください。

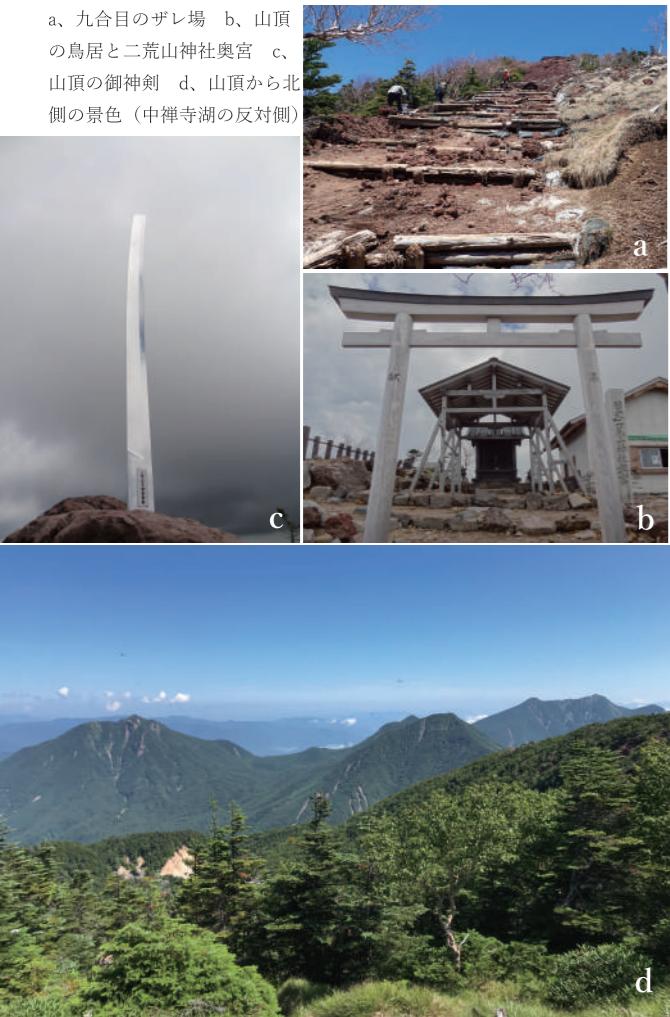
一合目～三合目



日光二荒山神社の唐門をくぐり、社務所へ

お納めします。社務所で手続きを済ませ、地図とお守りをいただきましょう。

日本百名山
たいさん
男体山
二四八六メートル



ビミターセンターイベント

ゴールデンウィーク企画! 春のバードウォッチング

5月4日、6日
9:30-11:30

「バードウォッチングってどうやるの?」そんな初心者さん歓迎! 双眼鏡の使い方から丁寧にレクチャーします。葉っぱがまだ少なく気温も丁度良いこの時季こそ、野鳥観察にオススメです。物腰柔らかな鳥お兄さんがご案内します! ゼひ~。

【ルート】湯元温泉街周辺

参加費 1,000円
(双眼鏡レンタル代込み)



湯ノ湖 マニアック・フラワーハイキング

5月21日(日)
9:00-12:00

今回は、日光パークボランティアにて日頃から植物の開花調査を行っている方を講師にお招きします。メジャーなものからほんの小さな花まで、なんでも聞いてください! 湯ノ湖を何度も歩いた方も初めての方も、夢中になること間違いなし!

【ルート】湯ノ湖一周

参加費 3,000円



みんなで歩けば怖くない! 中禅寺湖南岸シャクナゲツアー

6月2日(金)
10:00-15:00

歩く人が少なく、個人で行くにはちょっと勇気がいる中禅寺湖南岸コース。実はシャクナゲのスポットなんです。みんなで行けば絶対楽しい! さらに今回は「千手湧水」にも寄り道。シャクナゲのトンネルと、ヒミツのスポットを楽しみましょう!

【ルート】千手ヶ浜→中禅寺湖南岸(途中まで)
→千手湧水→千手ヶ浜

参加費 4,000円



シカ管理専門員と行く! どうする!? シカ問題

6月10日(土)
10:00-15:00

ビジターセンター所属の「シカ管理専門員」と一緒に「シカ侵入防止柵」沿いを歩きます。普段はビジターセンター職員しか入れません! 動物に詳しい人達なので、特別感を楽しみながら、シカ問題以外も色々聞いてみてください。貴重な機会を逃すなっ!

【ルート】光徳P→シカ柵ルート一部→竜頭ノ滝周辺

参加費 4,000円



お申込み先(自然公園財団日光支部)

✉ yumotovc.guide@bes.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

お申込みの際、下記をお知らせください。

- ①氏名②令和2年~4年実施イベントの参加有無
- ③性別④年齢⑤住所(郵便番号含む)⑥電話番号
- ⑦当日の交通手段